

労働法制の規制緩和が集中的に行われた90年代からの非正規雇用の増加で、社会的格差の問題が集中的に青年層に表れています。

力を合わせて、すべての仲間の賃上げを!

青年を取り巻く環境・社会に関する年表

1985年	労働者派遣法成立(16業務)
1987年	「フリーター」という用語が誕生
1992年	バブル崩壊で新卒市場が縮小傾向に
1993年	成果主義を導入する企業が増え始める
1994年	「就職氷河期」と言われる
1995年	就職難に泣き寝入りしない女子学生の会誕生
1996年	派遣対象業種が16から26業務に拡大
1997年	大学生の就職協定廃止で就職活動が早期化、新卒派遣の拡大
1998年	「自己分析」「自分探し」をテーマに就活本が大量に流通
1999年	製造、建設など一部を除き人材派遣が自由化。パラサイトシングルという言葉が流行
2000年	裁量労働制の適用範囲が拡大
2003年	国民生活白書でフリーターを特集、若者自立挑戦プラン
2004年	製造業への人材派遣が解禁。派遣期間の制限も緩和 日立が新処遇制度(成果主義賃金、HIワーク)導入
2005年	『下流社会』がベストセラーに

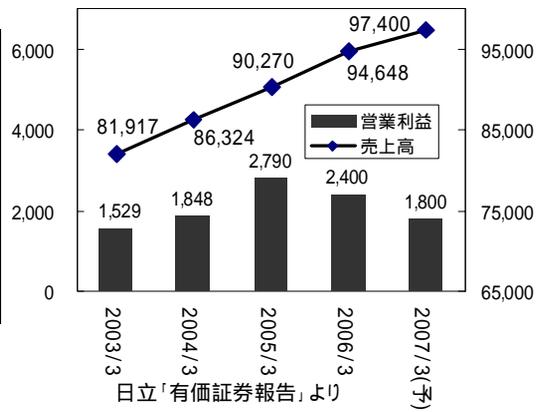
07年春闘各組合要求

組合名	賃金改善額	年間一時金要求(月数)
日立	2,000	5.0
HES	2,000	4.85
日立ICS	2,000	4.8
AEパワー	2,000	5.0
日立工機	2,000	5.7
HPT	2,000	5.0
ルネサス	2,000	5.0

賃金改善額は、個別賃金ポイントの額。



売上高推移・営業利益推移(連結)(億円)



日立グループの経営状態(売上高-営業利益)から、組合の切実で最低限の要求となっている「ベア2千円と一時金5.0ヶ月」には十分に 대응することができます。日立本体の結果がグループ会社にも影響します。

毎年、働く人たちが力を合わせて、みんなの要求を実現するのが春闘です。たたかってこそ要求は前進します。
電機連合の調査結果では、ゆとりのある世帯は3割未満となっており、苦しい生活実態が続いています。一方、可処分所得は二〇〇一年からの5年間

で約15万円も低下しています。賃上げなしに生活改善はありません。職場に働くみんなが賃上げできるよう、力を合わせましょう。

日立 懇 <発行>2007年3月 <茨城日立地区版>
日立関連労働者懇談会
〒108-0073 東京都港区三田3-2-20
(電機労働者懇談会気付)
TEL(03)3455-6006 FAX(03)3451-3595
http://www.hitachikon.net
Eメール info@hitachikon.net

最低賃金を時給1000円!
日本の最低賃金は、都道府県別に決められています。最低額は、青森や沖縄などの610円(茨城県は、655円)で、生活保護費水準すら下回ることが問題となっています。「人間らしい生活」を送るためには、少なくとも時給千円以上は必要です。時給千円は、年収200万円に相当する時間給。全労連と連合が今春闘で要求しています。労働総研の試算では、時給千円で6時間パートの8割近くが月額2.5万円、一般労働者の13%余りが2.9万円の収入増になるとしています。また、これにより、二兆六千四百億円の経済波及効果が生まれるとされています。



「ほっとした」

緊急業績対策解除

（電力）の日立本体や関連会社の「緊急業績対策」が3月で終了することが伝えられ、該当職場は「やっと終わるか」「ほっとしたよ」という声が出されています。

重電部門の「業績悪化」を理由に、「年間約50万円カット（総合職5級の場合。諸手当含む）」「出張日当ゼロ」等々のひどい内容で、04年2月から2年間にわたり続けられてきました。どこの職場でも「モラル向上のために」とも約束どおり3月で終わりにしてほしい」と言う声が管理職からもあがっていました。「小づかいを減らすしかなかったんだけど、安心した」、住宅ローンを支えるめどがたった、「もうこんなのはやめにして」と話されています。（HES）

仕事そのまま、

給料 半分以下！

「覚悟はしてたけど、実際に給料もらったら腹が立ったねえ。フルタイムで、仕事も責任もなにも変わらないのに給料は半分以下。何とも釈然としないう」「いつしよに仕事して、指導している若手より安いのは納得いかない」「成果主義を言うなら、仕事に見合った

給料にするか、給料に見合った仕事をさせるか。どっちかにしてほしいものだ」「フルタイムなんて選択しなきゃよかった」「組合は給料が高すぎると年金がもらえないとか言ってるようだが本当か」「冗談じゃないよ！とタンカ切ってやめたいけど、宝くじでも当たらない限り我慢するしかない」。定年退職し再雇用で働き始めた人たちの声です。（情制シ）

設計・現場交流の場 職場懇親会盛況に

受変電盤（スイッチギヤ）の製作にたずさわる関係者の懇親会が開かれた。

会社から技術賞などの賞金に個人負担金を加えての飲み会だったが出席者も多く、日ごろ、設計者と製造現場の交流が少ないだけに担当分野を越えての懇親の場になった。（旧国分）

旅費精算システム うっかりすると大損

出張旅費の精算をパソコンでやるのはどこの職場でも同じでしょう。

日立製作所の場合、早朝発や深夜帰着すると割増日当が支給されるのですが、うっかり入力を忘れようものなら警告なく受け付けられて、もらい損ねます。



出発・帰着時刻を入力して自動計算するのは難しいことではないはず。なぜそういうシステムにしないのでしょうか。（情制シ）

長時間残業で思うこと

今年に入って月50時間前後の残業が続いている。もつとやっている人からすると、「50時間は序の口だよ」と思うかもしれないが、やりなれないので結構たいへん。でも、残業はしっかりと申告するので、残業手当はありがたい。楽しみ、救いでもある。でも、裁量労働でいくら残業しようが収入が変わらない人は、その「救い」すらないということではないか。メンタル疾患が増えている要因の一つと言えるのではないだろうか。（情制シ）

臭いトイレ 早く直してほしい

AEパワー開装部製造は旧日立からの建屋を使用しているため、いたるところにガタがきています。いまも屋根を修理中ですが、ぜひ来期は一刻も早くトイレをきれいに修繕してもらいたいものです。し尿が便器から床にこぼれていたり、換気扇が機能せず、異臭が鼻をつきます。上の事務所にまでただよって来ます。職場環境の整備が生産の能力向上や就業意欲の向上にもつながります。来客の印象も上がります。予算は必要な所に大胆に使ってほしいものです。（AEパワー）